

学校法人 内丸学園  
盛岡幼稚園 園報  
第 256 号  
(3月)  
2021

「やる気」を考え育てよう

学校法人内丸学園 理事長 坂本 洋

陽春を迎え自然と躍動感がみなぎりますが、卒園を間近にする年長児は、このところ小学校入学を控え、自信に満ちた「やる気」を醸し出しております。

親や保育者は、子どもの成長として良い所はどんどん伸ばし、短所は早い所から直してあげ、子ども自身が何事にも興味や関心を持って挑戦する「やる気」が伸びて欲しいと願っています。

やる気とは何でしょうか。どんな心理状態かを考えてみたいと思います。やりたいことに向かっている行動する気持ち、意欲、動機付けと言われます。当幼稚園での多くの園児は、今日は何をして遊ぶのかと意欲満々張り切って、まさに

「やる気」に満ち溢れる日常が観察されます。

乳幼児の発達行動は、本能的にやりたいことを自発的・積極的に繰り返し、やる気を伸ばしているといわれます。このようなやる気の萌芽を親は認めつつ、危険だと思われる行動にダメ出しをして心の成長を促進しております。

このダメ出しの関わりが、親としても保育者としても大切で「やる気」の芽を摘まないよう心がけます。その根っこの部分は、日頃からの愛着心、信頼感がしっかり育つ関わりです。自尊心を育て、自己肯定感を高める日頃の子育てが必要です。

自尊心・乳幼児といえども自分

という存在を価値あるものとして認めてもらえる気持ち。自己肯定感・自分はかけがえのない存在で皆から認められ愛されていると自分自身の良さを肯定的に認める感情。

日本は諸先進国に比較し子どもの自己肯定感(自分自身に満足している。自分には長所があると思っている等)が低いという国際的な調査結果が報告されております。またある調査では、子どもの肯定感(小学校低学年で大きく低下する傾向がある)が指摘されております。

このような状況で「やる気」を育て高めるにはどうしたらよいか。逆説的にやる気が起きない状況を考えると、①身体的、精神的に疲れている時(その解決はしっかり睡眠し、バランスよい食事、適度の運動と生活リズムを乱さない)②悩みや考え事など気になる時(気になること話させてみる、やらなければならぬことを紙に書いてみる、問題を整理してみる等)③今やりたくない気持ち(強い時(とにかく少しでもやってみる、少し時間をおいてやってみるよう励ます等)。

②、③は通常多い状況ではなく、①状態が、やる気のない始どの事例ですから、子どもの生活リズムは大きなことです。また②や③は、自己肯定感の高い子はすぐに回復でき自信をもって挑戦する姿に戻ります。

では自己肯定感を高める関わりをどうするか。乳幼児期から子どもの行動を認め・ほめる受容的態度と共感的理解をもとに、子どもができそうもなく諦めそうな時、親や教師は適切な声掛けや対応をしてあげること。例えば・クリアできそうな目標を考え用意してあげる・声掛けは肯定的で具体的(否定語は入れない)・成功体験を積み上げることが意識する。子ども自身が自信を持ち「やる気」に満ち溢れる状態にすることです。

やる気や粘り強さ、自尊心、自己肯定感、自制心、協調性や他者への思いやり等を非認知能力と言って、知的な能力・認知能力以上に人格形成の最も大切な能力と重視されております。

しかもこの育ちは乳幼児期が臨界期と言われ、幼稚園教育の最も重視する教育目標となっております。

卒業おめでとう

卒業おめでとう!

Aクラス担任 村松 千尋

Aクラスで過ごす日々も、あと少し。盛岡幼稚園を巣立つ時が近づくにけれ、進級を喜んだ4月が懐かしく感じられます。新しいことにどんどん挑戦した春、園庭で汗をかきながら遊んだ夏、タッピングの畑や散歩に出掛け自然にたくさん触れた秋、思い切り雪遊びをした冬・・・振り返ると、一つ一つにたくさんの思い出が詰まっています。

今年度は、様々な場面で「いつも通り」が難しいこともありましたが、子ども達は何事にも一生懸命で、その瞬間を楽しんでいました。特に印象深いのが、お楽しみ会に向けての取り組みです。グループ決めや役割分担など、初めての経験に友達同士意見がぶつかることもありました。それでも話し合いを重ねるなかで、徐々に相手を受け入れたり友達と協力したりする姿が増えて、子ども達の力が伸びていることを実感し、嬉しくなっ

進級おめでとう

Bクラス、楽しかったね!

Bクラス担任 竹岡 真美

この一年、友達とたくさん遊び、いろいろな経験をして大きくなったみんな。顔つきもずいぶんお兄さん・お姉さんになり、成長を感じて嬉しく思います。

Bクラスみんなは、好きなこと・楽しそうなことを見つけて遊ぶのが得意な子達で、私も毎日みんなと一緒に遊んで楽しませてもらいました。遊びの中で子ども達の言葉やアイデアに驚いたり感心したりすることもたくさんあり、一人ひとりの持つ力を感じた一年でした。

そして、今年はコロナ禍で行事の縮小もありましたが、2月には保育参観を行なうことができ、『ももたろう』の劇遊びをお家の方に見ていただきました。みんな楽しんで見た絵本から、まずは保育室での劇遊び、そこから保育参観日のステージ発表に向けて張り切って取り組みました。好きな役を選び、それぞれの役の動きや



Aクラスみんな ゴーっと友達☆

たのを覚えています。個人としてもクラスとしても成長するきっかけになり、その後の活動や行事でもその力が活きて、ここまで繋がってきたように思います。  
卒業式で歌う『ころのねっこ』にある通り、幼稚園での毎日がこれからもみんなの心の根っこになり、自信になることを願っています。ずっと応援しています！  
無事卒業を迎えることができたのも、保護者の皆様に幼稚園生活を支えて頂いたおかげです。本当にありがとうございました。

つづつBクラス!

Cクラス担任 石田 雪乃

取りを楽しみながらみんなので一つのお話を作ることができ、個々の成長だけでなく、クラスとしての成長も感じることができました。さあ、次はいよいよAクラス。みんながどんな活躍を見せてくれるか楽しみです。お引越しましまうお友達もいますが、新しい園でも元気に楽しく過ごせますように...

最後になりましたが、子ども達を温かく見守り支えてくださったお家の方々に感謝いたします。ありがとうございました。

不安と緊張でいっぱいだった4月から、もう少して1年。お家の人と離れることが寂しくて泣いたり、不安そうな顔で登園していた子も、今では友達と遊ぶことが大好きになり、「ピンクバッチなるよ!」と嬉しそうに話しています。赤バッチのみんなは面白いことや新しいことが好きで、「なにしてるの?」と興味津々に集まっ

てきます。最近は、段ボールにテープや画用紙を貼って道路を作っている子がいると、二人三人：と集まり、「ここは信号にしようー!」、

「ここは池にする?」と相談しながら、素敵な「大きな町」を作っていました。自分の気持ちを伝え合いながら友達と遊ぶ姿に、「先生と一緒に」が安心だった春からの大きな成長を感じて嬉しくなりました。時にはケンカをして怒ったり泣いたりしたこともありましたが、その経験があったからこそ言葉で伝え合ったり、友達の気持ちにも気付けたり：と、心もひと回り大きくなったのだと思います。

元氣いっぱいみんなと過ごした毎日はとても楽しく、あつという間でした。いつの間にかいるんなことが出来るようになり、自信をもって次に進んでいく姿がとても頼もしいです。

保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。この一年、温かく見守っていただきありがとうございます。これからのみんなの成長も楽しみます!



### 大好きな瞬間

C2クラス 担任 瀧山 茉保

初めてのエプロンやバッチ、初めてのお部屋や先生。ドキドキ・ワクワクがいっぱいだった入園式から始まった黄色バッチでの生活ですが、早くも1年が過ぎようとしています。

ごっこ遊びや鬼ごっこなど、手がいるからこそ成り立って、楽しい遊びが大好きな子ども達。友達と一緒に遊ぶことが楽しくて嬉しいけど、その分上手く言葉にして伝えられないもどかしさや、表現できない悔しさもいっぱい経験していました。私たちもお互いの思いを受け止めて言葉を代弁したり、先生と一緒に伝えに行ったりしながら過ごしていました。今では、少しずつ、自分の力で、先生が傍にいないでも伝えられるようになってきています。自分で伝えられて、それを友達が受け入れてくれた時の嬉しそうな表情が忘れられません。私の大好きな瞬間です。また、歌うことやダンスもすぐく上手で運動会や保育参観の時にまたつぷりとお家の人にお見せすることができました。好きな遊び

の時間にたくさん踊って、「まだ踊りたい!」と何度も踊りました。運動会のダンス曲「スマイル」のニコッと笑う振りの笑顔がとても素敵で、これも私の大好きな瞬間の一つです。

保護者の皆様には、たくさんのご理解とご協力を頂きましたこと、感謝いたします。ありがとうございました。Bクラスでもたくさんの方に挑戦していく姿を楽しみにしています。ずっと応援しています。

### はじめての参観日

ふたばクラス担任 林崎 裕子

新型コロナウイルス感染症対策のため、制約の多い一年でしたが、年に一度の参観日は各クラス一日ずつ日程を組み、感染症対策にご協力いただきながら行うことができました。

ふたばクラスでは、「親子で楽しむふれあい遊び」を中心に参加していただきました。4月から園内に保護者の方が入らずに過ごしてきたので、保護者と一緒に保育室に入り、いつもと違うことに気が付いた子どもたち。不安そうにしたり、泣いたり保護者にピツ

タリとくっついて離れませんでした。この日は、「ふうせん」というふれあい遊びを行いました。子どもたちも保護者の方と遊ぶことができ、笑い声が響きました。担任と行ってきた遊びでしたが、何より子どもたちは保護者の方と、ふれあい遊びをしたことで、とびきりの笑顔を見せてくれました。短い時間でしたが充実した参観日になったのでは?と思っています。

もうすぐ、進級を迎える子どもたち。0歳児クラスでは愛着関係を大切にしながら、過ごしてきました。今後も一人一人の成長していく姿を保護者の方と一緒に見守っていききたいと思っています。



ふれあい遊び

### 参観を終えて 保護者より

泣いたり笑ったりの参観日  
いちごクラス 成田 明子（充来）

私の勤務地が仙台で、なかなか園に行けないため、この参観日を楽しみにしていました。まず、お部屋が子ども達の写真や作品で飾り付けされており、先生方の愛情を感じて感動。充来を抱っこしながら見学し、温かい気持ちになりました。

手遊び、お歌、お祈り、ホール遊びと、充来はその大半をめめめそして過ごしていましたが、先生の「美味しいおやつがあるよー」の掛け声に誰よりも早く反応し、笑顔で猛ダッシュしていった場面が私にとつてのハイライトです。笑顔に戻って良かったと思っていたところ、子ども達が親と離れ階段を下りて行くやいなや、「ママに会いたいー」と叫んでいる充来の声が聞こえ、笑ってしまいました。充来は、先生手作りの新聞紙の剣や工作を大切にしています。大切に育てて一緒に寝るので、ぐちゃぐちゃになり、翌日「直してもらおう！」

### 皆の成長が見られた参観日

B クラス 錦織 里美（春都）

今年度は園内に入ることも出来ずに3学期を迎えましたが、この度の参観日では約一年ぶりに子供達の姿を見ることが出来て嬉しかったです。今年は昨年の倍の人数で、ホールを使った本格的な劇に挑戦しました。「桃太郎」に決まったという話を聞いた時、息子は何の役をやるんだろうと思っっていると、「俺は桃太郎にした、もう決めたよ」と宣言。以前は遊びの中でも積極的に前に出る子供ではなかったのが主役を選んだことに驚きつつ、ますます本番が楽しみにになりました。そして参観日当

日。朝は少し緊張気味だったようですが、「頑張るよ」と言って登園。劇が始まりホールの後ろから元氣に入ってくる子供達を見て思わず目頭が熱くなりました。31人全員が自分の役をやりきり、この1年の皆の成長を感じました。息子も、10人いる桃太郎ズの一員を立派にこなし、本人も満足の出来だった様です。

題材、配役、衣装決めなど色々な場面で子供達の話を聞き、意見を尊重しながら進めてくださった先生方には感謝申し上げます。コロナ禍で大変な中、参観日を開催していただき、ありがとうございました。

### 編集後記

新型コロナウイルス感染症と向き合い過ぎてきた一年・・・。依然として収束する気配が見られないなか、一年間の歩みの大切な時期を迎えました。子ども達にとつてもこの一年は経験したことのない生活になりました。園側としても「子ども達にとつての安心で安全な場」として、考え、悩んだ一年でした。そんな中、先月、今年度初めての参観日が全クラスで行われました。感染予防をしながらの参観日でしたが、これまでの成長を保護者の皆様と一緒に共有できたことに何よりも感謝です。今年度は制限することが多く保護者の皆様にたくさんのご協力を頂きました。ありがとうございました。



B クラス劇遊び『ももたろう』

学校法人 内丸学園  
幼保連携型認定こども園  
盛岡幼稚園  
〒〇二〇〇〇二二  
盛岡市中央通一―六―四七  
TEL 六二二―二三〇一  
理事長 坂本 洋